

このたびは、5回線用リレーボックスをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

目次

安全上のご注意	1～3
設置・使用上のご注意 [免責事項について・本機を長期間お使いの場合は]	3
各部の名称と説明 (前面 / 後面)	4
各部の名称と説明 (接続端子部)	5
■施工方法	
接続例1 (BXシリーズアンプ、リモートマイクRMM-105との接続)	6
接続例2 (BXシリーズアンプ、リモートマイクRMM-110との接続)	7
結線方法	8
EIA規格ラックへの取り付けかた	9
ノイズ対策について	10
定格	11
外観寸法図	11
サポートのご案内 / 保証書	12

安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめ、販売店などに連絡する

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに使用を中止し、販売店などにご連絡ください。



工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



分解 / 改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。








異物を入れない / 濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
定期点検を実施する 専門の業者（技術者）による定期点検を実施してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。異常があれば、ただちに使用をやめ、販売店などにご連絡ください。	
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない 火災・感電の原因となります。	
雷が鳴り出したら、アンテナ線、スピーカー線や電源プラグには触れない 感電の原因となります。	
この機器の上に花瓶など水の入ったものを置かない こぼれたり中に水が入った場合、火災・感電の原因となります。	
この機器の上でろうそく等の炎が発生しているものを置かない 火災の原因となります。	
電源コードを熱器具に近づけない コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	
電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）販売店などに交換をご依頼ください。	
電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。定期的に電源プラグを抜き、乾いた布などで拭きとってください。	
電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。	
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。	
不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	
間隔をおいて設置する 内部に熱がこもり火災の原因となります。また、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、すきまをあけてください。	
重量に耐える取り付け、設置をする 取り付け、設置の場所や方法が不適切な場合、落下や転倒などでけがの原因となります。取り付けは販売店に依頼してください。	

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	
湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない 火災・感電の原因となることがあります。	
電源を入れる前にはアンプの音量を最小にする 突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。	
お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因となることがあります。	 プラグをコンセントから抜く
長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 火災の原因となることがあります。	 プラグをコンセントから抜く
本機を電源コンセントの近くに置いて使用する 万一の事故防止のため、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにして使用してください。	



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

濡れた手で、電源コードを抜き差ししない

感電の原因となります。



移動するときは、コード類を傷つけない

火災、感電の原因となることがあります。移動させる場合は制御を解除し、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。



この機器に乗ったり、ぶらさがったり、足場代わりにしない

特にお客様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



廃棄は専門業者に依頼する

燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。



テレビ、オーディオ機器、ビデオ機器、スピーカーなどの機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続が終わりましたら必ずスピーカー端子盤カバーを取り付けてください。感電の原因となることがあります。



1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほごりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。



設置・使用上のご注意

- 入力線と出力線は近づけずと発振する恐れがありますので、できるだけ離して配線してください。
 - 直射日光の差し込む場所、温度の高くなる所には設置しないでください。また、湿度・ほごり及び振動の多い場所に設置すると故障の原因となることがあります。
 - 本機を雑音発生の原因になる機器*の近くには設置しないでください。
- *高周波機器(乾燥機、医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器。

遮断装置について

- 本機には電源スイッチがありませんので、本機の電源プラグが遮断装置になります。
- 本機は遮断装置へ容易に手が届くように、電源コンセントの近くに設置してください。
- ラックなどに組込む場合は3mm以上の接点距離を有する電源スイッチまたは、配線用遮断器を設置してください。更に、それらは保護アース導体を除く、主電源のすべての極が遮断できなければなりません。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
- ②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
- ③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
- ④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

本機を長期間お使いの場合は

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。

外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり故障したり、事故の原因となることがあります。下記①～④の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り(使用中止)、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。

特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

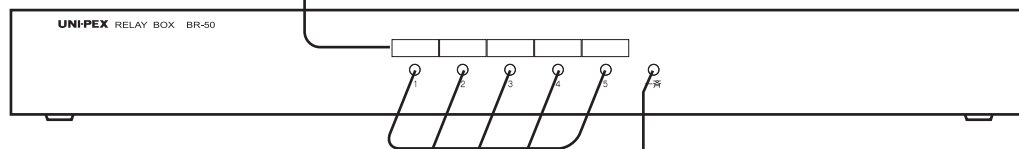
- ①煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。
- ②電源コード・電源プラグが異常に熱い。または亀裂や傷がある。
- ③本機に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- ④電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

各部の名称と説明

(前面)

放送箇所記入部

各放送系統(1~5)の場所などを記入してください。



動作表示灯(緑)

各放送系統(1~5)が動作中、点灯します。

動作表示灯・一齐(赤)

一齐起動がかかると各放送系統と一齐が点灯します。

(後面)

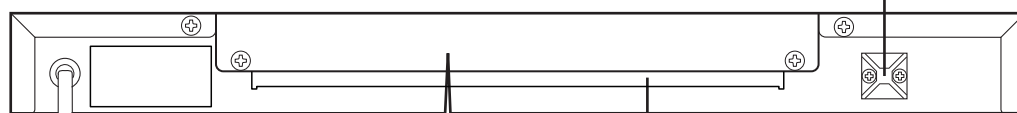
コードバインダー取付台

付属のコードバインダーを取付台の穴に通し接続コードを結束します。

電源コード

電源プラグをAC100Vコンセントに接続してください。

接続コード引出口



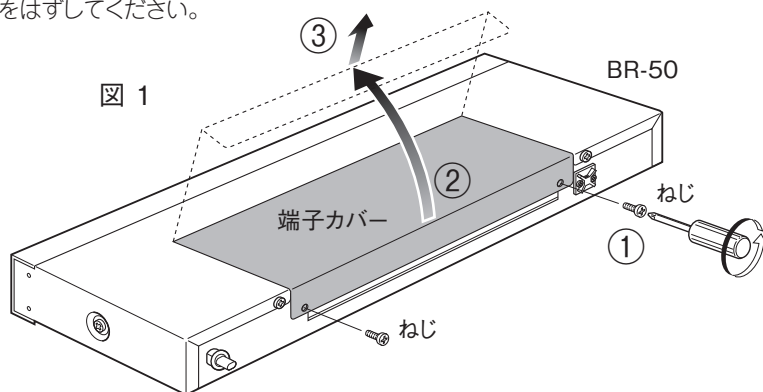
端子カバー

内部の端子台にコードを接続するときはこのカバーをはずしてください。

■端子カバーのはずしかた

- ① 2本のねじをはずす
- ② 端子カバーをあげる
- ③ 端子カバーを上方向に取り去る
(図1参照)

図 1



警告

ご使用中は、感電の恐れがありますので、端子カバーをはずさないでください。接続などで端子カバーをはずすときは、必ず本機及び接続機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続工事が終わりましたら必ず端子カバーを取り付けてください。

各部の名称と説明

(接続端子部)

アンプ起動入力接続端子

アンプ側からスピーカー回線を選択することができます。本接続端子の1~5、一斉、COMとアンプ(BXシリーズ)側のスピーカー回線出力1~5、一斉(R)、スピーカー回線入力端子を接続してください。
0.3mm²以上のリード線で配線してください。

ハイインピーダンス入力接続端子

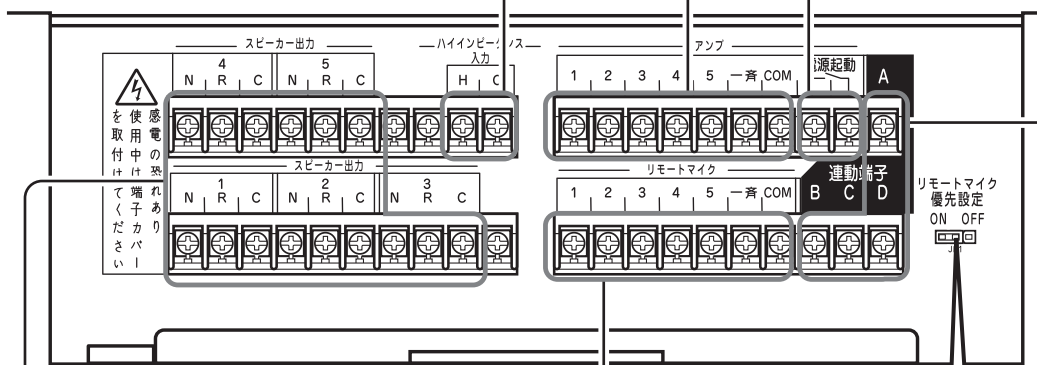
H、Cとアンプ側の100系出力、スピーカー共通回線を接続してください。
0.75mm²以上のリード線で配線してください。
(注)
この端子はハイインピーダンス専用です。ローインピーダンス出力を接続しないでください。

電源起動接続端子

外部起動入力により本機が動作すると連動してアンプの電源起動をおこないます。
アンプ側の電源起動端子、Eと接続してください。
0.3mm²以上のリード線で配線してください。

連動端子

本機を2台以上でご使用になる場合には各端子を接続してください。リモート優先制御及び一斉制御が連動します。電源起動を連動させる場合は電源起動端子を並列に接続してください。
最大4台まで接続できます。
0.3mm²以上のリード線で配線してください。



スピーカー出力接続端子

ハイインピーダンススピーカーを接続してください。
8ページの「スピーカー配線材の太さと配線可能距離のめやす」を参考にして配線してください
(注)本機はハイインピーダンススピーカー専用です。

リモートマイク接続端子

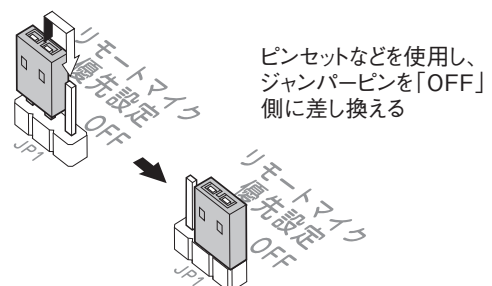
リモートマイク側からスピーカー回線を選択することができます。本接続端子の1~5、一斉、COMとリモートマイク側の1~5、一斉、COMを接続してください。
0.3mm²以上のリード線で配線してください。

リモートマイク優先設定

- リモートマイクからの制御をアンプより優先して動作するかを設定します。出荷時はリモートマイクからの制御をアンプより優先して動作するように「ON」側に設定されています。
- 優先されるのはスピーカー出力の制御です。音声は機器構成によりミキシングとなります。
- リモートマイクとアンプの操作を同時におこなえるように変更する場合は、このジャンパーピンを「OFF」側に差し換えてください。(図2参照)
- 本機を複数台使用の場合はすべての機器の設定を変更してください。

リモートマイク優先設定を「OFF」に切り換える場合

図 2



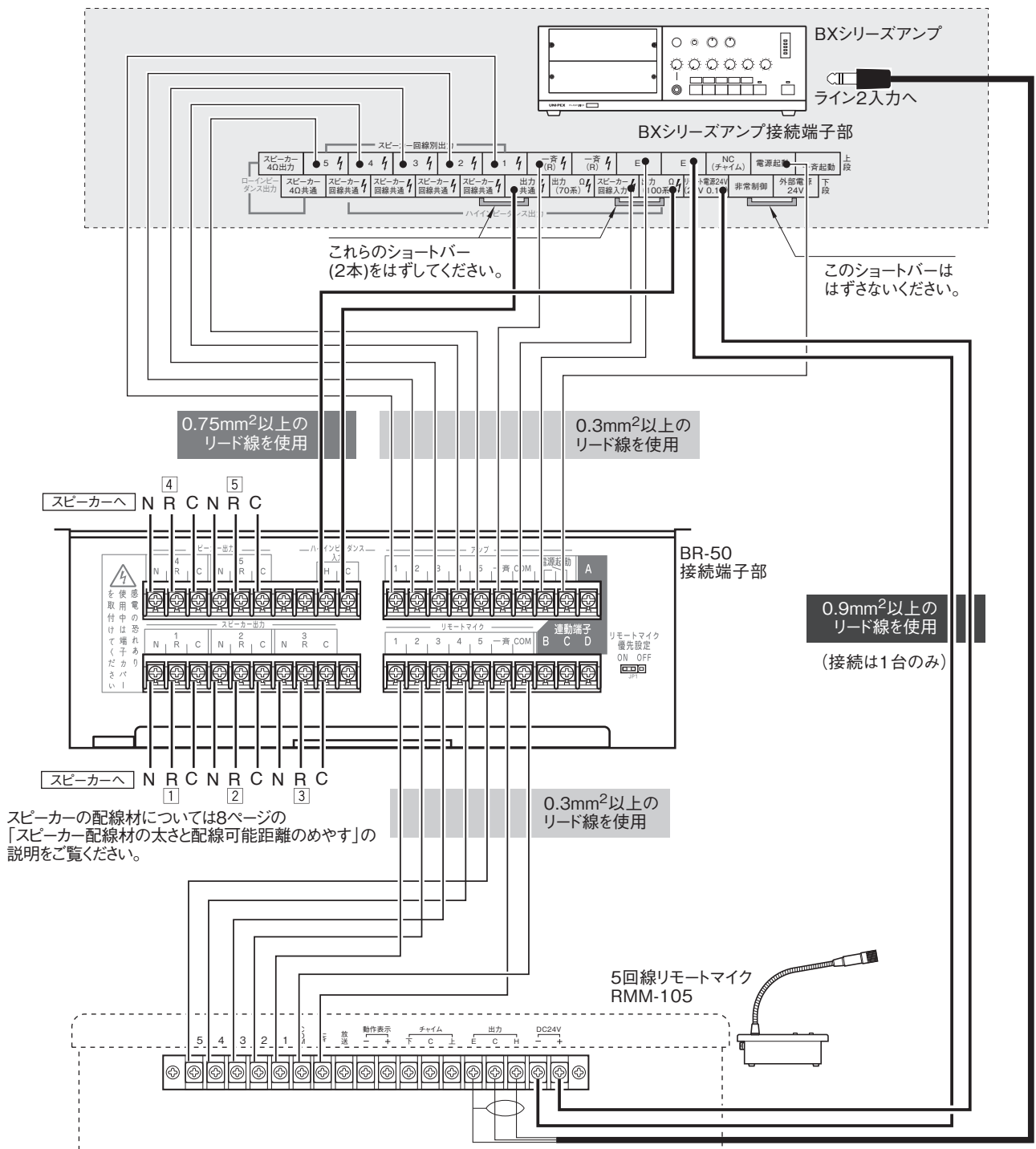
施工方法

(接続機器の取扱説明書もご覧ください。)

警告 接続作業をおこなうときは、必ず本機および接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。

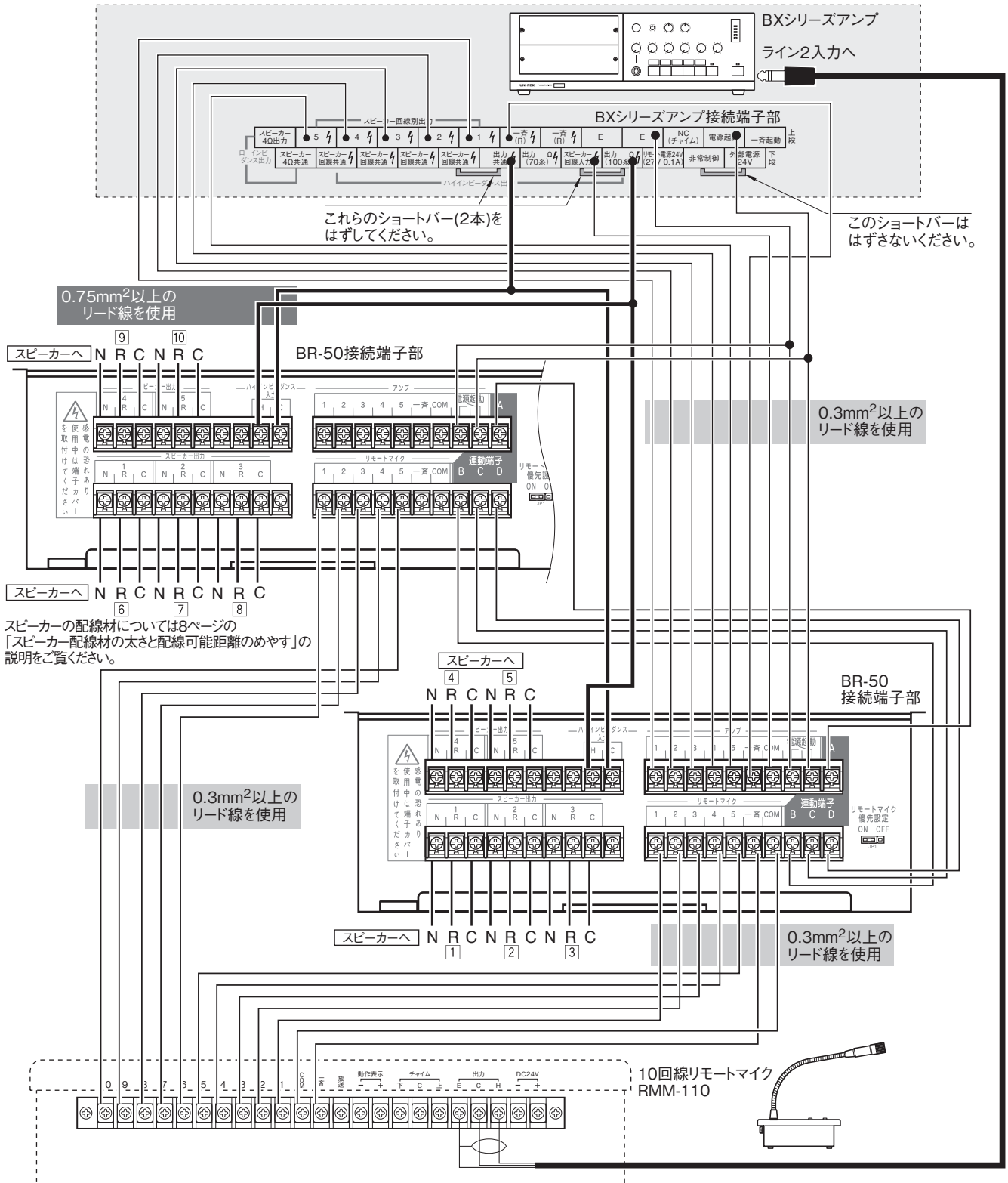
接続例 1 BXシリーズアンプ、リモートマイクRMM-105との接続

- リモートマイクRMM-105の各スイッチを入れますと、BXシリーズアンプの電源スイッチに関係なく動作します。
- RMM-105より選択する放送系統はBR-50の動作表示灯により確認できます。
- 各スピーカーへの配線はBR-50のスピーカー接続端子よりおこなってください。BXシリーズからの直接配線はできません。
- リモートマイクとBXシリーズアンプからは個別放送(1~5)と一齐放送ができます。
- BXシリーズアンプの電源が「OFF」の状態でもスピーカー回線選択スイッチ(1~5)を押しますと本機が連動し、それぞれ個別放送がおこなえます。但し一齐スイッチを押しても本機は連動しませんので一齐放送はおこなえません。



接続例 2 BXシリーズアンプ、リモートマイクRMM-110との接続

- リモートマイクRMM-110の各スイッチを入れますと、BXシリーズアンプの電源スイッチに関係なく動作します。
- RMM-110より選択する放送系統はBR-50の動作表示灯により確認できます。
- 各スピーカーへの配線はBR-50(2台)のスピーカー接続端子よりおこなってください。BXシリーズよりの直接配線はできません。
- リモートマイクからは個別放送(1~10)と一斉放送ができます。
- BXシリーズアンプからは個別放送(1~5)と一斉放送(1~10)ができます。個別放送(6~10)はできません。
- BXシリーズアンプの電源が「OFF」の状態でもスピーカー回線選択スイッチ(1~5)を押しますと本機が連動し、それぞれ個別放送がおこなえます。但し一斉スイッチを押しても本機は連動しませんので一斉放送はおこなえません。



結線方法

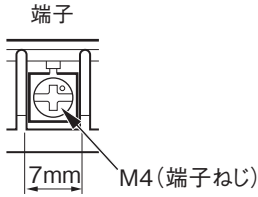
スピーカー配線材の太さと配線可能距離のめやす

芯線の太さ	φ0.9mm	φ1.0mm	φ1.2mm	φ1.6mm	φ2.0mm
20Ωの場合の延長距離	————	————	————	125m	190m
42Ωの場合の延長距離	————	90m	140m	250m	380m
83Ωの場合の延長距離	145m	180m	280m	500m	770m
170Ωの場合の延長距離	290m	360m	560m	1km	1.5km

注) 上記の数値は最適な条件で設置された場合のみ適用します。実際の設置状況に適合したスピーカー配線材をご使用ください。(10ページの「ノイズ対策について」をご覧ください。)

適合電線

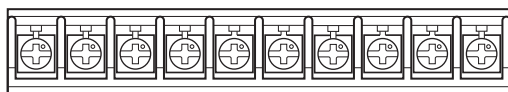
端子名	電線の種類
ハイインピーダンス入力接続端子	0.75mm ² 以上 リード線
アンプ起動入力接続端子 電源起動接続端子 リモートマイク接続端子 連動端子	0.3mm ² 以上 リード線



お願い

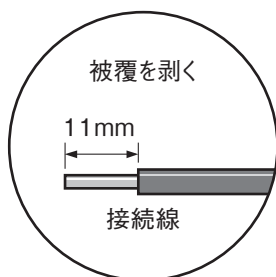
より線を使用される場合は圧着端子のご使用をおすすめします。圧着端子は左記寸法を参考にご使用ください。

接続線の加工

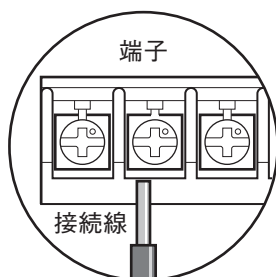


警告 半田あげ線は絶対に使用しないでください。不完全接触により火災の原因になります。

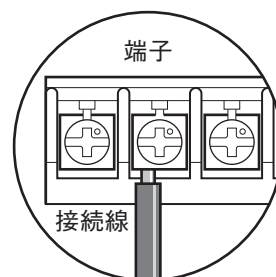
① 接続線の被覆を剥く
(芯線の長さ: 約11mm)



② 端子のねじをゆるめ接続線を座金の下に差し込む



③ 接続線をねじで締め付ける
(締め付けトルク: 1.4N・m)

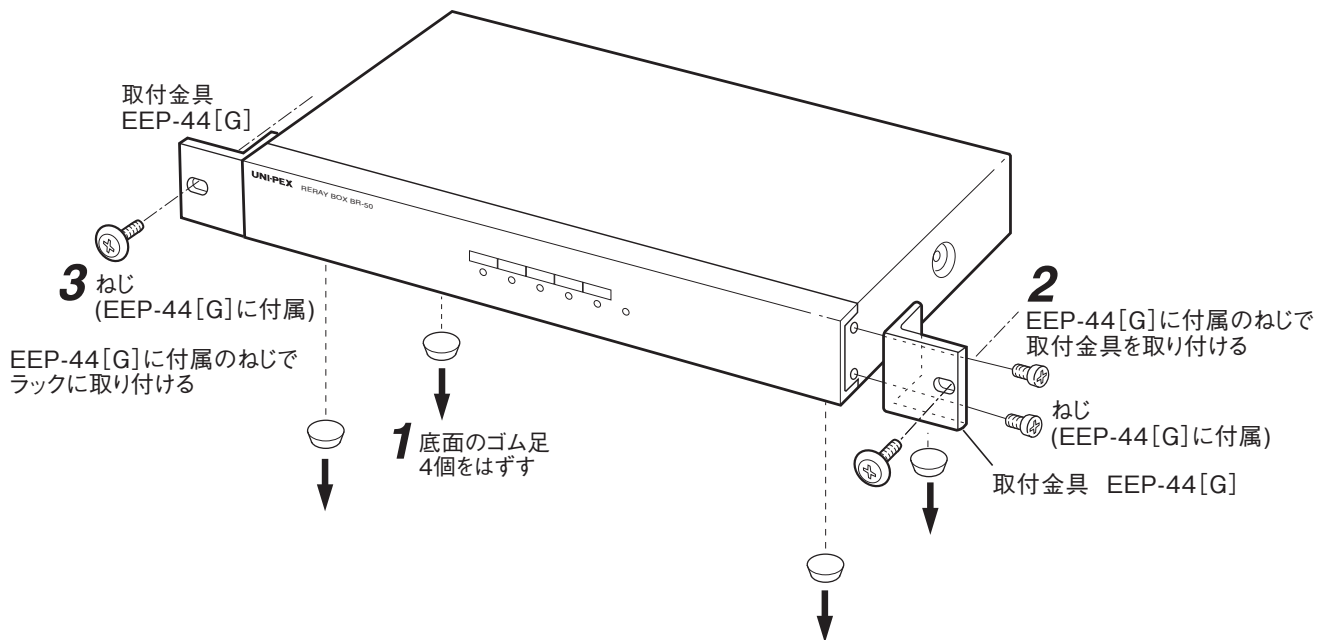


ご注意
端子のねじの締め付けには電動ドライバーなどを使用しないでください。端子の破損の原因になります。

施工方法

EIA規格ラックへの取り付けかた

EIA規格ラックに本機を取り付ける場合は、別売のEIAラック取付金具EEP-44[G]で下図のように取り付けてください。



1 ゴム足(4カ所)をはずします。

2 本機の両端にラックマウント金具EEP-44(別売品)を取り付けます。
取付ねじ(4本)で確実に固定してください。

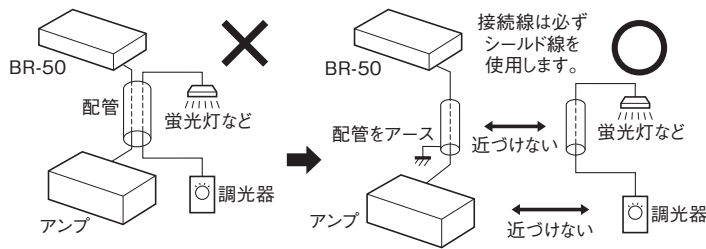
3 本機をラックに取り付け、ラック取付ねじ(EEP-44に付属)で固定します。

メモ

- ・電力アンプと一緒にラックへ取り付ける場合は、電力アンプと本機との間を1U以上あけてください。
- ・ラック内の温度が+40℃以上にならないように、通風や換気を良くしてください。
- ・EEP-44はブラック仕上げ、EEP-44Gはグレー仕上げです。寸法はどちらも同じです。

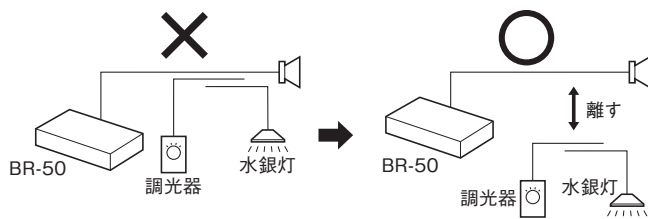
ノイズ対策について

外来ノイズの影響を受けないために、配線については次のような点にご注意ください。



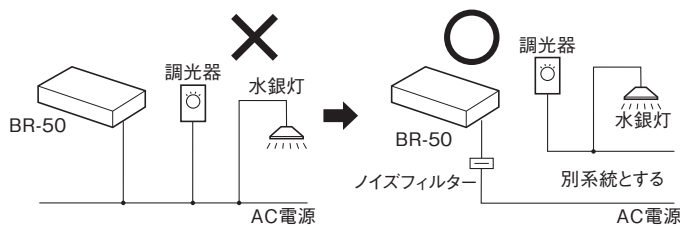
◆出力線のノイズ対策

調光器系統、AC電源系統とは必ず別配管とし、離して布線してください。



◆スピーカー線のノイズ対策

スピーカー線は調光器、水銀灯などの系統線とは離して布線してください。



◆電源のとりかた

電源は調光器、水銀灯などの系統とは必ず別にしてください。それでも不十分な場合は本機へのAC100V電源線にノイズフィルターを入れてください。

◆携帯電話の使用について

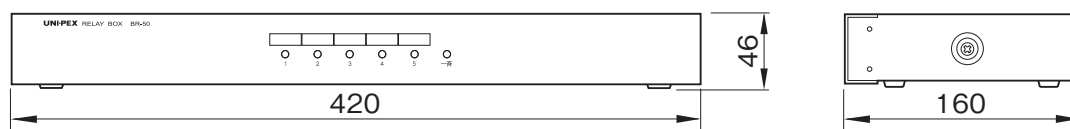
本機の近傍で携帯電話を使用しますと、雑音発生の原因になります。本機を使用中に携帯電話を使用される場合は充分ご注意ください。

定格

電 源 電 圧	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	7W以下
接 点 容 量	入力容量 1回線あたり 最大250W／5回線合計 最大500W
スピーカ－回線制御	3線式 5回線一斉付 リモートマイク優先方式
リ モ ー ト 回 路	単独動作：1回線あたり DC24V 最大 60mA／一斉端子 DC24V 最大90mA 4台連結時：1回線あたり DC24V 最大140mA／一斉端子 DC24V 最大350mA
動 作 表 示	回線別表示：発行ダイオード(緑) 一斉表示：発行ダイオード(赤)
電 源 起 動	無電圧メーク接点 接点容量 DC30V 1A
外 装	パネル：(鋼板) マンセルN1 近似色 ブラック 半艶塗装 ケース：(ビニールラミネート鋼板) マンセルN1 近似色 ブラック
寸 法	幅420mm 高さ46mm 奥行 160mm
質 量	約2.3kg
付 属 品	取扱説明書(保証書付) 1、コードバインダー 1
適 合 品	EIA規格ラック用(1U)取付金具 EEP-44[G]

外観寸法図

(単位:mm)



サポートのご案内

■ **修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。**
販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ **販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。**

営業所情報はホームページ
もしくはQRコードにアクセス
してください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ **その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。**

UNI-PEX 0120-56-5245 通話料無料

お客様ご相談センター 受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）

PHS・携帯電話からのご利用は、
072-855-3334（通話料がかかります）

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

5回線用リレーボックス BR-50 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部) 6ヶ月
お客様	お名前 ご住所 〒 見本 様 電話() -
販売店	店名・住所 電話() - 印

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

- (次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)
- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
 - ②不当な修理改造による故障、損傷。
 - ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
 - ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上起因するもの。
 - ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
 - ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
 - ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)